

(様式 1 c)

動物実験計画審査願

研究部名 (各研究室名)

申請者氏名 _____ 印 _____

動物実験責任者 (部室長に限る)	氏名	所属・職名	TEL	講習受講
				☐
動物実験従事者	氏名	所属・職名	TEL	講習受講
				☐
				☐
				☐
				☐
				☐
				☐
				☐
研 究 課 題				
継続、変更の理由				

動物実験の目的（目的、意義、価値観等について記載して下さい。）

適合項目は■ *はバイオセーフティー委員会の許可番号を記入

安全管理上注意を 要する実験	☐ いいえ	
	☐ はい	
	☐ 細胞接種	: 細胞名
	☐ 毒物・発癌剤等投与	: 投与物質名
	☐ 病原微生物接種 *	
	許可番号	微生物名
	☐ 遺伝子組換え実験（拡散防止レベル） *	
	許可番号	課題名 大臣許可
		不要 要(許可番号:)
		不要 要(許可番号:)
		不要 要(許可番号:)
		不要 要(許可番号:)
動物実験の 実施予定期間 (年度毎の更新が必要)	実験開始 平成 年 月	実験終了 平成 年 月
動物実験実施場所	戸山研究所 肝炎・免疫研究センター	

動物実験を必要と する理由	☐ 他に代替手段がない ☐ 代替手段では精度が不十分 ☐ 検討した代替手段では経費が大きすぎる ☐ その他
------------------	--

使用動物について

区分	動物種	系統名	遺伝的保証	微生物学的保証	入手先	匹数
						匹
						匹
						匹
						匹
						匹
使用動物数（合計）						匹

使用動物数の算出根拠（具体的に詳しく書いて下さい。）

動物実験の方法

（動物に苦痛を与えると考えられる実験については特に具体的に詳しく書いて下さい。）

想定されるストレスや痛みのカテゴリの自己判断

- ☐A
- ☐B
- ☐C
- ☐D
- ☐E

人道的エンドポイント

（設定が必要な場合はその内容を、必要ないと思う場合はその理由を書いて下さい。）

動物の苦痛軽減・排除の方法及び保定・拘束時間について（関連事項を複数選択）	
☐ 軽微な苦痛の範囲なので特に処置を講じない。 ☐ 鎮痛剤・麻酔等を使用する。 薬品名： ☐ 重度のストレスや痛みを伴う実験であるが、実験の都合上苦痛の軽減・排除の方法がない。 （実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること。） ☐ 短時間（24時間以内）の保定・拘束はやむを得ない。（実験の目的または方法の欄にその理由と 人道的エンドポイントを記入すること。） ☐ その他（具体的に）	
実験終了後の処置	
☐ 過剰麻酔による安楽死 薬品名： ☐ 炭酸ガスによる安楽死 ☐ 物理的方法による安楽死 ☐ 頸椎脱臼 ☐ 断首 ☐ 後頭部殴打 ☐ その他（具体的に）	
研究結果の報告方法	
☐ 査読のある雑誌で公開する ☐ 学会で報告する ☐ ホームページ等で公開する ☐ その他	

委員会記入欄	審査終了： 平成 年 月 日	
	修正意見等	
	審査結果	☐ 本実験計画は、における動物実験規程等に適合する。 ☐ 本実験計画は、における動物実験規程等に適合しない。

理事長承認欄	承認： 平成 年 月 日
	本実験計画を承認します。 承認番号：() 国立国際医療研究センター理事長